

其の河

て歩一步日一日峠に向て行程を進むるに随ひ、身の高山中にあるを忘却し、道路の緩なること、恰も毎日平地を騎行すると異ならず。漸く嶺頂に達するに及び、始て其の分水嶺たるを覺知せし程なりき。傾斜の緩なること實に斯の如し。且つ其の目測近きが如くにして、實距離の遠きには度々一驚を喫したり。

河川は各、廣濶なる地域を恣に放流し、敢て堤防等人工物の妨害支障なきに因り水幅狭小なるに比し、河床の廣大なること往々里餘に亘るもの有り。故に大河の外は通常徒涉し得べしとす。

其の湖澤

湖澤の在る所は、通常濕潤にして、附近一帶、蘆葦茂生し、高さ丈餘に及び、爲めに展望を妨げらるること、森林に異ならず。路外の通過は、不可能の地多く、普通の道路も、雪解の期節には泥濘深く、通過至難の箇所少なからざるなり。此の如き難過の土地には、狐狼虎豹等棲息し、往々人畜を害す(白晝は其の害なし)

千篇一律

要するに新疆の地形は、千篇一律にして、沙磧帯を通過し了れば蘆葦密生の沼澤地と爲り、之を過ぐれば紅柳又は梧桐の叢生する鹹土地と爲り、之を通過すれば楊柳の鬱々たる住民地、耕地と爲る。然らざれば、沙丘岡阜、又は水草に富む牧場なり